

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	山陽小野田こども発達支援センターとことこ		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日 ～ 2026年1月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2025年12月10日 ～ 2026年1月9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への支援、相談体制の充実 ・小さなことでも常時保護者が抱える「困り感」への丁寧な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳情報をクラス内で共有すること。 ・月毎に行うケース会議。 ・保護者送迎の際の利用者の情報確認、共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップ (各種外部研修会への参加、事業所内研修の充実)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携における地域支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課「自立支援協議会への参画」「スクラム山陽小野田活動の充実」 ・子育て支援課「子育て支援ネットワーク協議会への参画」「にこキッズ：乳幼児相談」「3歳半健診：相談支援」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントメンター相談会の拡充 ・ペアレント相談会(ペアトレ)の拡充
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・開設7年を終えて、療育に対する経験値の浅い職員が約半数 	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒若手職員の増加。 ・パート職員の経験値、療育に対する意識向上。 ・危機管理意識高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティングでの研修(指導ではなく支援) ・並行通園先との密な連携
2			
3			